



千代田区議会議員 身近な区民の代弁者として、皆様に千代田区政の動きをお知らせしていきます。

# 池田とものりの区政レポート

第4号  
平成28年9月

To Next Generation! **千代田の未来へ世代をつなぐ!!**

## 平成28年第2回区議会定例会にて一般質問を行いました!

### 児童発達支援の拡充について

**池田** 本区では、児童福祉と学校教育の垣根を取り払い、0歳から18歳まで切れ目なく、統一的、効率的、効果的に施策を展開しています。発達支援についても、就学前だけでなく、就学後も継続した支援が出来るよう取り組む努力がされています。なかでも発達支援の拠点である**子ども発達センター「さくらキッズ」**では、機能訓練や集団適応訓練等を通じて、心身の発達に課題のある幼児・児童の発達・成長を支援するとともに、保護者の負担軽減を図る様々な取り組みがされています。その取り組みは区民に評価され、年々事業実績は上がっており、平成28年4月では190名の登録があり、心身の発達に何らかの課題があり支援を必要とする幼児・児童は今後も増加することが見込まれています。このような状況の中で、さくらキッズは既に満杯で、これ以上の事業や受け入れの拡大は難しいにもかかわらず、新たな拠点整備が具体化しているとの情報はありません。実態を踏まえてソフト、ハード両面からの早急な対策が望まれます。

また、他の自治体では、子ども発達センターは就学前の子どもまでが対象とされているのがほとんどですが、さくらキッズでは就学前からの利用者には小学1年生の児童まで受け入れをしてくれています。これは支援を必要とする子どもを持つ保護者の立場からは非常にありがたい対応です。その一方で、2年生以降はどうするのか・不安は絶えません。そんな不安を抱える親子のために区内には児童発達支援・放課後等デイサービスを実施事業としている民間施設があり、未就学児を対象とした児童発達支援、小学生から高校生までの居場所づくりを推進する放課後等デイサービスを提供しています。施設運営者に伺ったところ、学生ボランティアを活用することでその活動を支援することになり、何よりも千代田区民のために事業を始めた、とのことでした。だからこそ、この施設は区民の方に利用してほしいと望んでいますが、他区からの利用者が少ないのが現状だそうです。千代田区民を含めて利用者は増加していますが、家賃が高い千代田区でスペースを確保するのは非常に難しく、限界があります。車いすでの利用がしやすいようなバリアフリーの対応も容易ではありません。区ではそのような現状を把握しているのでしょうか?

**答弁** これまで小学1年生までの受け入れをしてきた「さくらキッズ」だけでは発達障がい等のある子どもへの支援は十分であるとは考えていない。将来的な自立就労を視野に入れ、**0～18歳までの幅広い年齢の子どもに対する支援**

**の取り組みを念頭に検討**を進めていく。同時に、民間施設や区営施設が連携・協力し障がいのあるお子さんやその家庭を支え、地域全体で支援できるように取り組んでいく。

### 障がい者への就労支援について

**池田** 発達支援の次の段階にも関連しますが、続いて千代田区の**障がい者就労支援事業**についてお聞きします。千代田区に転入されてきた方から、「待機児童ゼロ」と聞き「子育てがしやすいまち」と思っていたのに実態ではそうではなかったという声を聞くことがあります。役人の感覚ではなく、「普通人」の感覚、知識で理解できる、正確な情報提供にとどまらず、より多くの支援を望むのは必然だと思います。何より望むのは「親無き後の支援」です。障がいをもつ子を残して、その子が自立して生活し続けられるのかと不安を募らせています。障がいのある子をもつ親が高齢になり、自分がいなくなった後の心配をするのは当然のことでしょう。区では、一人一人の自立支援、就労支援として、区立障害者就労支援施設や就労支援センターを運営していますが、このような気持ちを持つ方々への配慮、具体的な支援を考えていますか?残された障がい者への生活支援は十分でしょうか?

千代田区の高齢者福祉施設は充実しています。高齢者にはやさしいまちを目指し、住み慣れた地域で、安心していきいきと生活できる地域づくりを推進しています。一方、障がい者に対する配慮はどうでしょうか。いつまでも住み続けられるまち千代田は障がい者にとっても同様に住みやすいまちでなければ、と考えますがいかがでしょうか?就労支援事業の現状での改善点、さらなる拡充計画がありましたらお聞かせください。

**答弁** **一人ひとりの適性に応じた支援を行うことが重要**。障がいがあっても住み慣れた地域で住み続けられるよう相談体制の充実を図っていく。今後は、「かがやきプラザ研修センター」と連携して障がい特性の理解、差別解消・合理的配慮につながる事務所向けの研修を実施していく予定で、就労支援の拡充に繋げていく。



# これからも安心して暮らしていける千代田を目指して

## 区政報告 その①

### 当該委員会の管外行政調査

子育て文教委員会で、軽井沢少年自然の家を含め校外学習宿泊施設として利用している施設の現状把握の調査を実施しました。規模は違いますが練馬区立の同様の施設や現在千代田区立の小学校在用している東海大学

自然の家の現状を委員会メンバーで把握し、今後の活用の方策など、区民の貴重な財産を有効に活用できるように引き続き論議していきます。



東海大学 嬬恋高原研修センター

## 区政報告 その②

### 避難所防災訓練に参加

千代田区では、発災時に備えて避難所防災訓練を実施しています。避難所開設時に十分にその役割を果たすことが出来るよう、備蓄倉庫からの資機材の搬出や組み立て、受付や災害対策本部と通信、被災者への情報提供など、災害時に実際に担当する役割を訓練します。帰宅困難者対策とは異なり地元住民の方で協力し合い行いますが、いざ始めてみると発電機に使用するガソリンの入れ方が上手くいかない、灯油との区別の難しさ、組み立てる時の部品の不足、ソーラー蓄電池の使い方・表示の不明瞭、など災害時では困らないように日頃からの取り組みの重要性を再認識しました。

今後は学校、幼稚園、保育園の保護者にも参加してもらい協力者が一人でも増えることが地域の共助に繋がると思いました。



▲防災倉庫から運んだ重機

## 区政報告 その③

### 平和使節団に同行

千代田区平和使節団長崎班に同行し、長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典の参列や、原爆資料館や原爆落下中心地・被爆校舎など長崎市街地を訪問しました。各所で千羽鶴を献架し、戦争や被爆体験者が少しずつ減っていく中で語り部の話を



原爆資料館にて

聞くことが出来ました。東京にいても、二度とあってはならないことを語り継いでいく責務を使節団の団員とともに私も果たして行こうと思います。

**(千代田区は、世界の恒久平和の確立に向けて積極的に行動することを、千代田区に住み、働き、学ぶすべての人々の決意として、平成7年3月15日に「国際平和都市千代田区宣言」を発表しました。)**

#### <池田とものり PROFILE>

「子育て文教委員会(常任委員会)」 「公共施設整備特別委員会」 「議会のあり方に関する調査特別委員会」 「区議会だより編集委員会」

- ★昭和44年10月28日、麴町で生まれる ★昭和51年 麴町保育園卒園 ★昭和57年 麴町小学校卒業
- ★昭和60年 麴町中学校卒業 ★昭和63年 日本大学第二高等学校卒業 ★平成4年 日本大学商学部会計学科卒業
- ★平成6年「フルーツエリア鶴」に就職、祖父鶴三、父清の後を継ぎ、三代目つるさんに。現在、有限会社 八百鶴商店 取締役
- ★平成20年度・21年度 麴町小学校PTA会長 ★平成15年～平成26年 千代田区スポーツ推進委員
- ★平成25年～共立女子学園後援会副会長 ★平成26年 千代田区ドッチビー協会を設立、初代会長

<趣味>けん玉(初段)・ボウリング・ドッチビー(審判・指導資格取得)

**池田とものり事務所** 〒102-0084 千代田区二番町11-1 朝日サテライト二番町406  
TEL/FAX:03-3221-7892 mail:ikedatomonori.turu@gmail.com

池田とものり  
公式アプリ公開中!!

